



2023年2月27日
株式会社オンワードホールディングス
経営企画 Div.広報 Sec.

進化したサステナブル経営を推進するプロジェクト「グリーン・オンワード」を始動 ～不要になった衣料品を活かして新たな価値を創造する「アップサイクル・アクション」をスタート～

株式会社オンワードホールディングス（本社：東京都中央区 代表取締役社長：保元 道宣）は、この度、「ヒトと地球に潤いと彩りを」というミッションステートメントに基づいて、オンワードグループ全体でより進化したサステナブル経営を推進するプロジェクトとして、「Green Onward（グリーン・オンワード）」を開始します。

上記の「Green Onward」の第一弾として、中核事業会社のオンワード樫山において、「オンワード・グリーン・キャンペーン」を質と量の両面で進化させ、不要になった衣料品を活かして新たな価値を創造する『Upcycle Action（アップサイクル・アクション）』をスタートします。

これまでの「オンワード・グリーン・キャンペーン」においては、回収した衣料品は毛布や軍手、固形燃料にリサイクルしてまいりました。これからの『アップサイクル・アクション』においては、ファッション企業としてのクリエイション力を生かして、不要になった衣料品から新たな価値を生み出します。デザイナーなど社員のアイデアの募集や、国内産地・工場との協業なども計画しています。

さらに、衣料品の回収率を向上させるために、新たな回収システムを導入します。具体的には、これまでは店頭のみで行っていた衣料品の引き取りをオンラインにも拡大します。特に、店頭引き取りにおいては、新しいきめ細かなポイント還元システムも導入します。

このアクションは、地球と共生しながら、ファッションビジネスを元気にすることを目指しています。

「オンワード・グリーン・キャンペーン」公式サイト URL：
https://www.onward.co.jp/green_campaign/



■「グリーン・オンワード」のロゴに込めた思い

Green の頭文字「G」を回転する矢印にデフォルメし、Onward の「O」と重なり合ったとき「無限の循環」をイメージしています。オンワードグループのサステナブル経営への前向きな姿勢と未来性を表しています。

■当社グループのサステナブル経営に関する主な取り組み

- ・無駄なモノづくりを排除する、受注生産・オーダービジネスの拡大
- ・国内外の工場監査実施
- ・働き方改革プロジェクトの推進

その他、当社のサステナブルに関する取り組みはこちら (<https://www.onward-hd.co.jp/sustainability/>)

■衣料品回収活動について

| | | これまで | これから |
|------|---------|------------|--|
| 質の進化 | リサイクル方法 | 毛布・軍手・固形燃料 | 毛布・軍手・固形燃料・ アップサイクル品 |
| 量の進化 | 引き取り窓口 | 店頭のみ | 店頭 + オンライン |
| | 還元ポイント | 一律 500pt | 一律 500pt 一部店舗において、 購入年月日・価格に応じたシステムを導入 |

・質の進化 不要になった衣料品から新たな価値を生み出したアップサイクル品の提供



▲アップサイクル品 イメージ

・量の進化を行う背景

衣料品がごみとして出された場合、再資源化される割合は 5%程でほとんどはそのまま焼却・埋め立て処分されます。その量は年間で約 48 万トン。この数値を換算すると大型トラック約 130 台分を毎日焼却・埋め立てされていることとなります。

そんな中、国内に流通する衣料品の 66%が可燃ごみ・不燃ごみとして廃棄されているという現状*を受け、お客さまが衣料品回収へより参加しやすい環境づくりを行うためのものです。

当社では、年間約 80 万点の衣料品を回収しリサイクル・リユースに努めていますが、年間の生産数に対する回収率はまだ低く、自社で生産・販売した製品の循環をより推進する責任があると認識しています。そのため、多くのお客さまが参加しやすく、回収点数を増加することを目的として新たな運営を開始します。

*環境省「サステナブルファッション」 https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/

・3/1～ 一部店舗で導入する新ポイント還元概要

クローゼットに眠る着なくなったオンワードの服をお持ちください。
購入履歴に応じてオンワードメンバーズポイントを還元いたします。

お持ち込みいただいた衣料品が、オンワードメンバーズカードのご購入履歴により オンワードグリーンポイントを還元

| | | | | |
|--|--|--|--|---|
| <p>ご購入2年未満の商品</p> <p>ご購入金額の 10% ポイント還元</p> | <p>ご購入3~4年未満の商品</p> <p>ご購入金額の 5% ポイント還元</p> | <p>こちらのQRコードからご確認ください</p>  | <p>注意事項・参加手順</p>  | <p>お引き取り場所・期間</p>  |
| <p>ポイントご利用方法</p> <p>衣料品をお持ち込みいただいた館内の「オンワード・クリック&トライ」導入店舗に限ります</p> <p>お買上げ金額2,500円(税込)毎に500ポイントご利用いただけます。 ※グリーンオンワード実施店舗発行のグリーンポイント(GO)をご利用した購入商品は返品不可となります。あらかじめご了承ください。</p> | | <p>お引き取り製品</p> <p>婦人、紳士、子供、ゴルフの衣料品 (お引き取りした衣料品の返却はいたしかねます)</p> <p>※購入価格での還元はオンワード榎山の紳士・婦人の衣料品に限ります。その他は一律500ポイントの進呈になります。</p> | | |
| <p>ポイント有効期限</p> <p>ポイント進呈日から6か月後の月末</p> <p>例)3月に進呈の場合、同年9月30日まで ※有効期限を過ぎるとポイントは失効いたします。</p> | | <p>お引き取り点数</p> <p>1回につき10点まで</p> <p>※品質表示タグ等でオンワード製品と認識可能なものに限らせていただきます。下着、生活雑貨、呉服は引き取り対象外とさせていただきます。服飾雑貨はバッグ、ネクタイ、ストール、マフラー、手袋、帽子のみお引き取りします。18歳未満の方はご利用いただけません。通常のメンバーズポイントとの併用可</p> | | |
| <p>お引き取りブランド</p> <p>オンワード製品に限らせていただきます。</p> | | | | |

【実施店舗】

URL:https://www.onward.co.jp/green_campaign/information/shop.html

・3/15～ オンラインによる衣料品回収概要

利用申し込み方法

「オンワード・クローゼット」マイページへログインし、専用ページより申し込み

※オンワードメンバーズへのご登録が必要になります。

参加対象者

18歳以上の「オンワードメンバーズ会員」に限る

お引き取り対象製品

(株)オンワード榎山(あるいは 榎山株式会社)の製品に限る

お引き取り点数

お一人さま1回につき10点まで

特典

お引き取り対象製品1点につき、オンワード・グリーンポイント500ポイントを進呈

ポイントご利用方法

オンワード・クローゼットでのお買い物に、1ポイント=1円としてご利用可能 ※実店舗ではご利用不可

ポイント利用期限

ポイント進呈から6か月後まで

送料について

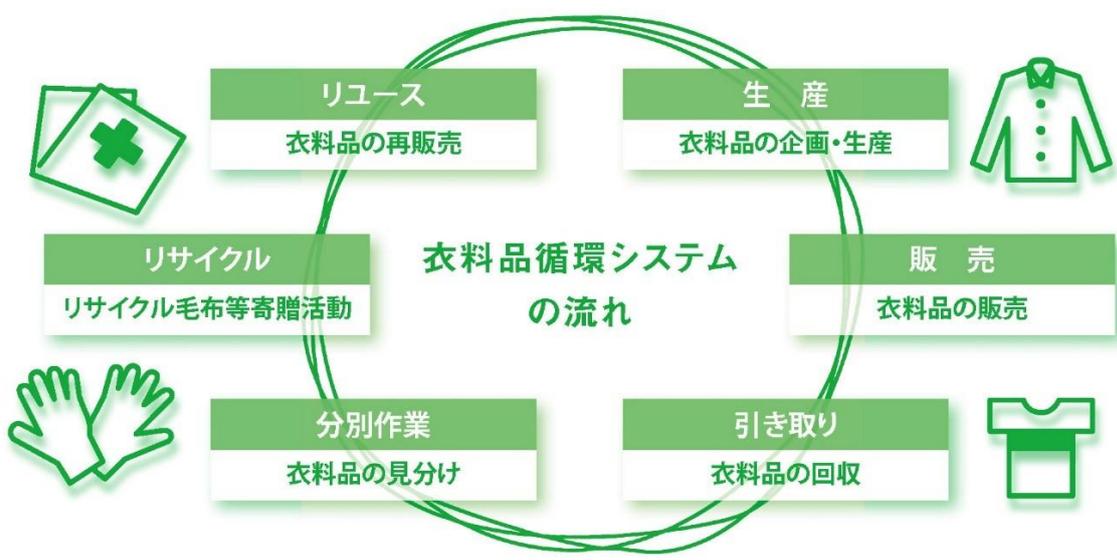
お客さまご負担

※詳細は、公式サイト (https://www.onward.co.jp/green_campaign/) にてご確認ください。(3/15 公開予定)

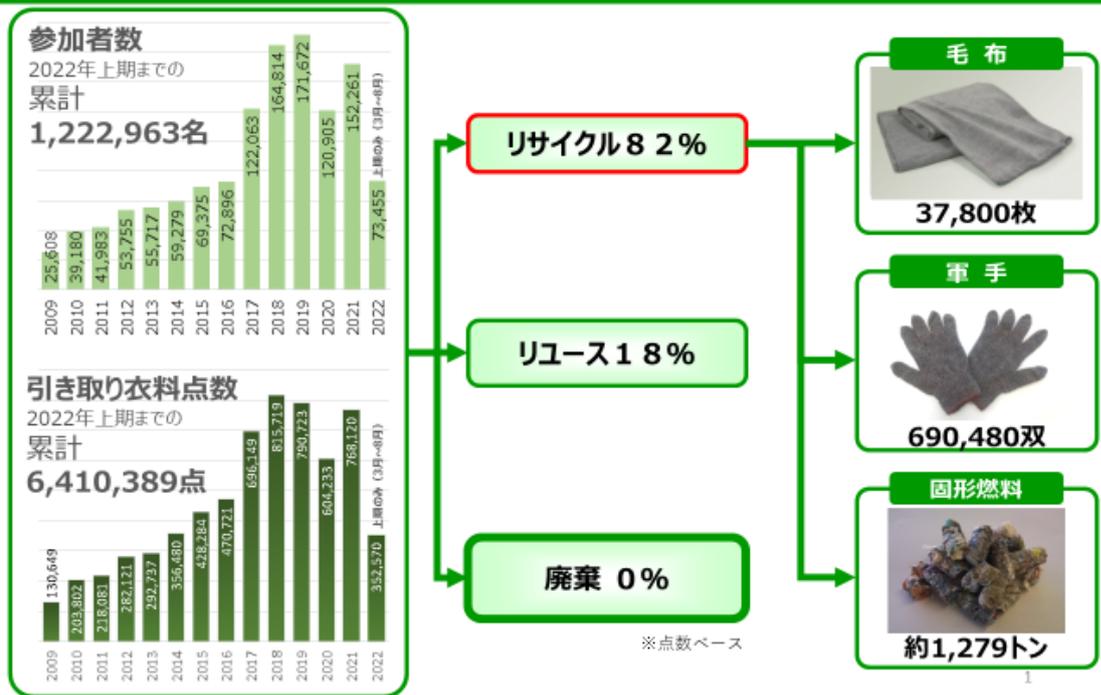
<オンワード・グリーン・キャンペーンについて>

オンワードグループの環境経営推進の一環として、ご愛用いただいた自社の衣料品を利用者から引き取り、可能な限りリユース・リサイクルすることを通じて、衣料品循環システムの構築を目指す取り組みです。2022 年上期まで、累計約 122 万名の利用者から約 620 万点の衣料品を回収しました。

お引き取りした衣料品は、リサイクルして RPF（固形燃料）に再生し代替エネルギーとして利用するほか、繊維製品の原料となるリサイクル糸を作り毛布や軍手を生産。毛布は日本赤十字社の協力のもと、国内外の被災地や開発途上国への支援に活用しています。リサイクル毛布による支援活動は過去 12 回実施しており、東日本大震災被災地や中国・四川大地震被災地などへ累計 37,500 枚を寄贈しました。軍手は、災害支援、森林保全、啓蒙活動など様々な場面で配布しています。また、まだ使用できる一部の衣料品は、環境コンセプトショップ「オンワード・リユースパーク」（東京・吉祥寺/EC サイト）にてチャリティー価格で提供し、その収益を環境・社会貢献活動に役立てています。



オンワード・グリーン・キャンペーン リサイクル・リユース実績



■リサイクル毛布の寄贈による支援活動実績

| | 【寄贈時期】 | 【寄贈先】 | 【寄贈対象】 | 【寄贈枚数】 |
|------|---------------------|---------|-------------------|--------|
| 第1回 | 2010年5月 | バングラデシュ | 難民キャンプ | 3,000枚 |
| 第2回 | 2011年2月 | カザフスタン | 難民キャンプ | 3,300枚 |
| 第3回 | 2011年9月 | 日本 | 東日本大震災被災地 | 1,000枚 |
| 第4回 | 2012年3月 | 中国 | 四川大地震被災地 | 2,200枚 |
| 第5回 | 2012年9月 | モンゴル | 生活困窮者の方々 | 2,000枚 |
| 第6回 | 2013年10月 | ネパール | 生活困窮者の方々 | 4,000枚 |
| 第7回 | 2014年10月 | ミャンマー | 生活困窮者の方々 | 4,000枚 |
| 第8回 | 2015年10月 2016年4月 | ベトナム | 生活困窮者の方々 | 4,000枚 |
| 第9回 | 2016年2月 | ネパール | ネパール大地震被災地 | 2,000枚 |
| 第10回 | 2017年10月 | インドネシア | 生活困窮者の方々 | 4,000枚 |
| 第11回 | 2018年11月 | インド | 生活困窮者の方々 | 4,000枚 |
| 第12回 | 2019年10月 | モンゴル | 孤児院と 寄宿寮の子どもたち | 4,000枚 |

累計 37,500 枚

